

## 「持続的な地域連携に役立つ広報活動」

事務長  
亀井 一成

「地域医療は、機能分化と連携によって適切に提供されます。」このように教わったのは、1996年新宿区戸山にあった国立医療・病院管理研究所でした。全国から集まった幹部候補生たちに混じって足掛け3年間研修に通いましたが、いつ行っても当院は最小規模の病院でした。当時、仲間からは「これからの病院は大きさだけではないよ」と慰められながら、地域医療と自院の役割や将来像を描きつつ勉強したものです。それから十数年間、一つひとつの課題を身の丈に合った方法で解決するよう心がけて参りました。

今年度5月「腎・泌尿器疾患勉強会」と銘打ち、地域の先生方をお招きして、私たちが行っている医療の一端を発表する機会をもちました。神山院長のあいさつのもと、濱尾副院長が座長を努め、榊医師の「上部尿路結石の最新の治療」と、中達医師の「保存期慢性腎不全の治療のポイント」の2題を発表し、当院で提供している専門医療の中でも特に際立った部分を披露することができました。

長い時間がかかりましたが、このような広報活動ができるようになったと思うと感慨もひとしおです。自分たちは何を考え、どのように地域医療に携わっているのかを率直に表明することで、患者さんにもわかりやすい、より効率的で持続的な地域連携のきっかけになっていければと思っています。



## 亀井病院の目指すもの…緩和ケア病棟

### 緩和ケアチーム



看護部

主任 岡田 美千子

緩和ケアというと、従来はがんの治療ができなくなった患者さんが受けるものと思われがちでしたが、最近では、がんの治療と症状緩和を並行して行うといった考え方に変わってきています。

がんの症状には様々なものがあり、効果的な症状緩和を行うために、各専門職で構成されるチーム医療が推奨されています。

当院の緩和ケアチームは、週に1回患者さんの病室を訪問し、コミュニケーションを図りながら現在の状態を把握しています。またミーティングで治療の方向性を共有し、各専門職がさまざまな視点から個別性のある医療、看護を心がけています。

疼痛や呼吸困難には、医療用麻薬の適切な使用が効果的です。しかし、麻薬と聞くとびっくりされる患者さんやご家族も多く、医師からの説明に加え、看護師や薬剤師が訪問して不安の軽減に努めています。

食欲がなかったり、吐き気のため、食べたいのに食べられない状態の方も多くいらっしゃいます。投薬に加え、管理栄養士が頻回に訪問し、好みや食事の形態について患者さんの希望を聞き、その都

度対応しています。

長期の療養で下肢の筋力が低下したり、リンパ浮腫のある患者さんに対しては、理学療法士がリハビリやリンパマッサージを行っています。

また、がん拠点病院などから転院されてくる患者さんの受け入れは、地域医療連携室で事務部が中心となって行い、病棟スタッフと一緒に病室の調整などを行っています。

がん治療中や終末期の患者さんは、肉体的にも精神的にも苦痛を伴い、またご家族の負担も大きくなってきます。一番身近にいる私たち看護師は、患者さん・ご家族の苦痛が最小限に抑えられ安心して入院生活を送っていただけるよう、また、できるだけ希望に沿った最期を迎えることができるように援助したいと考えています。そのためには、気軽に何でも相談してもらえるような良い信頼関係を築くことが大切です。患者さんの話に耳を傾け、心に寄り添う看護を行うことで患者さん・ご家族が心を開いて下さり「亀井病院にきてよかった」と思ってもらえるような看護を続けていきたいと思っています。



【緩和ケアチームのラウンド】

当院の教育施設認定

- 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医教育関連施設
- 日本透析医学会 専門医制度認定施設
- 日本緩和医療学会 認定研修施設
- 協力型臨床研修病院

## 秋の味覚たっぷり ㊦ 松茸づくし御膳

例年にない夏の酷暑で食欲が低下された方もいらっしゃるでしょう。やっと過ごしやすい季節となり、鳴門金時をはじめ、栗、キノコ類、柿、梨、さんまなど秋の味覚を存分に味わえる時期を迎えました。

「腹八分目に医者いらず」のことわざがあるように、満腹になるまで食べてばかりではかえって健康を害しかねません。「腹八分目」で満腹感を得られる方法は、食べ物をよくかんで、早食いをしないことです。満腹感を感じさせるホルモンのレプチンが分泌されるのは、食事をはじめて20～30分経ってからです。ゆっくり味わって食べるように心がけましょう。

写真は毎年この時期に提供している「松茸づくし御膳」です。お膳の内容はその年ごとに少し変えています。ぜったいに外せないのは松茸ごはんです。今回は松茸ごはんの作り方を紹介します。マツタケが苦手な方はエリンギやシメジ、マイタケなどでお試してください。上に飾る枝豆は、三ツ葉や柚子に変えても楽しめます。

(管理栄養士 山下・高久)



### — おしながき —

#### ・松茸ごはん

一人あたりのエネルギー 298kcal

タンパク質 6.1g

塩分 0.8g

カリウム 182mg

リン 97mg

- ・マツタケ入りとろろそば
- ・茶碗むし マツタケのせ
- ・天ぷら(マツタケ・海老・さつま芋)
- ・抹茶パフェ

### ❁松茸ごはん

#### 【材料】約2人分

米…1合、マツタケ…40g、  
油あげ…1/3枚、  
うすくちしょうゆ…小さじ1と1/2、  
みりん…小さじ1、料理酒…小さじ1、  
顆粒だし…0.5g、枝豆…適量、  
きざみのり…適量

#### 【作り方】

- ①米は洗ってザルにあげておく
- ②油あげをこまかく刻む
- ③マツタケは石づきを削ぎおとし、ふきんなどを使って、やさしく汚れを取り除き、繊維に沿ってカットする
- ④炊飯器に米、うすくちしょうゆ、みりん、酒、顆粒だしを入れ、目盛りまで水を加える
- ⑤④にマツタケ、油あげを加え、軽く混ぜあわせて炊飯する
- ⑥⑤を器に盛り、茹でておいた枝豆ときざみのりを散らす

## 新入職員の紹介 ①氏名 ②職種 ③出身地 ④趣味・特技 ⑤抱負をひと言



- ①京小 晶子 (きょうこ あきこ)
- ②看護師/透析室勤務
- ③徳島県
- ④テレビ鑑賞
- ⑤患者さんと笑顔で接します。

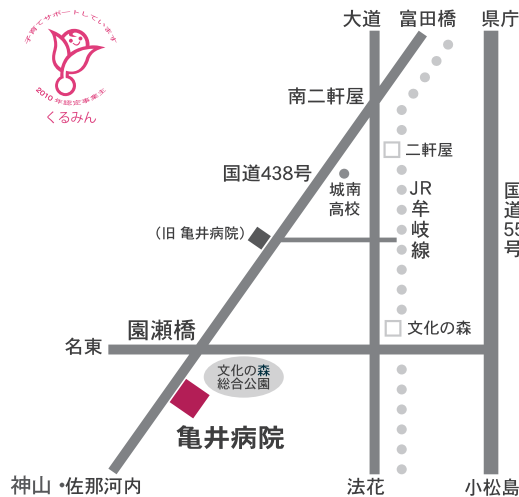
わたしたちと一緒に働きませんか？ 亀井病院は看護師さんを募集しています

# 外来診療のご案内

平成 25 年 10 月現在

	月	火	水	木	金	土
<b>腎・泌尿器科</b>						
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 16:30	●				●	
<b>VA 治療</b>						
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 16:30	●				●	
<b>透析科</b>						
8:00 ~	●	●	●	●	●	●
12:00 ~	●	●	●	●	●	●
17:00 ~	●		●		●	
<b>総合診療科</b>						
9:00 ~ 12:00	●	●	●		●	○
(第 2・4 土曜日は休診)						
<b>緩和医療科</b>						
9:00 ~ 12:00		●		●		
<b>麻酔科</b>						
9:00 ~ 12:00	●	●		●	●	
<b>腎臓内科</b>						
9:00 ~ 12:00			●	●		
14:00 ~ 16:30			●	●		
<b>循環器内科</b>						
14:30 ~ 17:00				○		
(第 1・3 木曜日のみ)						
<b>整形外科</b>						
9:00 ~ 12:00						○
(第 2・4 土曜日のみ)						

※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。  
 ※いずれの外来も**予約制**で行っています。受診の際は、事前の電話予約と確認をおねがいします。



- 国道 438 号線沿い 文化の森総合公園の西側となり
- 駐車場 125 台
- 徳島バス 佐那河内線、徳島市バス 一宮線  
**【亀井病院前】**下車。1日 55 便、上下線とも病院玄関前に停車します。(徳島駅からは約 15 分で到着します)。詳しくは総合受付までお問い合わせください。



〒770-8070 徳島市八万町寺山 231  
 TEL.088-668-1177 FAX.088-668-1122  
 ホームページ <http://www.kameihospital.com/>

## ※地域医療連携室からのお知らせ※

### 徳島市がん検診について

- 総合診療科外来にて徳島市がん検診（大腸がん検診・前立腺がん検診・もの忘れ検診・肝炎ウイルス検診）を受け付けています。実施期間は平成 25 年 7 月 1 日から 12 月 20 日（休診日を除く）です。検診料金は、受付までお問い合わせください。
- 泌尿器科外来では前立腺がん精密検査を受け付けています。一次検診（前立腺がん検診）の結果で「要精検」になった方が対象です。精密検査は保険診療となります。精密検査依頼書と健康保険証とをご持参ください。
- いずれも予約制です。あらかじめ電話でご相談ください。

### ※表紙の写真※

- 徳島市役所のとなりにある幸町（さいわいちょう）公園で撮影しました。このタイワンフウ（台湾楓）は、毎年みごとな紅葉をみせてくれ、行きかう人々の目を楽しませてくれます。

### ※病院の理念※

よりよい医療を提供し  
 社会に貢献いたします

### ※4つの基本方針※

1. 患者さんの話に耳を傾ける医療
2. 職員全員が医療人としての技量を発揮するチーム医療
3. 患者さんの健康回復・社会復帰を目指す医療
4. 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが  
 健康回復に取り組むことを  
 医療的にそして精神的に支援します

### ※編集後記※

朝晩が涼しく過ごしやすくなり、いよいよ「秋！」という感じになってきました。新しいことをするのに最適な時期なので、なにかはじめてみようかなと思います。毎日があわただしく過ぎていくばかりです。「〇〇の秋」とよく言います。今年こそ「スキルアップの秋」を目標にしていきたいです。

(M.U.)